

開催概要

(1) 日 時: 令和8年2月12日(木) 10:00~12:00

(2) 会 場: 庄内総合支庁水産振興課 大会議室

(3) 出席者: 【内水面漁業関係者】10名

【有識者】(Web)

- ・北海道大学北極域研究センター 帰山北海道大学名誉教授
- ・(国研)水産研究・教育機構 中村研究員
- ・(同)YUI 中野代表社員

【行政関係者(県・酒田市)】7名

- 【オガザバー】・鶴岡市農林水産部農山漁村振興課水産振興主幹
- ・遊佐町産業課主任

(4) 説 明: 本県の取組状況及び当検討会議について

(5) 議 事

① 酒田市沖における漁業影響調査(内水面漁業)

「山形県酒田市沖において実施する漁業影響調査の考え方(案)」について意見交換

② 酒田市沖における漁業協調策・振興策(内水面漁業)

「(案)内水面漁業(サケ増殖事業を含む)の協調策・振興策として想定される取組[イメージ]」について意見交換



議事① 酒田市沖における漁業影響調査（内水面漁業）

検討メンバーからの主な意見

- もう少し、アユ・サケに力を入れて調査をしてもらえればありがたい。
- 漁業影響調査は、運転開始後3年間ではなく、最低10年間にしてほしい。
- 「関連性をより明確化するための取組」に「アユ生態への影響調査」も加えてもらいたい。

有識者助言

- 【(国研)水産研究・教育機構 中村研究員】
 - 調査期間が着工前2年間、運転開始後3年間では科学的には短い。
 - 洋上風力発電設備がサケ・サクラマス・アユ・モクズガニへ及ぼす影響について公表する形で調べるのは初めてになるため、調査手法・調査期間・調査結果の解釈を丁寧に行ってもらいたい。
- 【北海道大学北極域研究センター 帰山北海道大学名誉教授】
 - 調査期間は、サケの生活スタイルが4年で戻ってくるため、期間の吟味が必要。
 - 事業者と県で綿密に打合せをしながら進めていくこと。県から事業者への指導も必要。
 - 内水面の調査対象魚種にサクラマスを明記した方が良い。
 - サケの遡上に音の影響はないと考えられる。

議事② 酒田市沖における漁業協調策・振興策（内水面漁業）

検討内容（漁業協調策・振興策の基本方針）

- 内水面漁業（サケ増殖事業を含む）の振興への支援
 - ①河川環境の再生 ②増殖事業への支援 ③漁業資源の活用 ④遊漁者の誘致
- 地域社会との連携強化
 - ①広報・PR活動の強化 ②教育分野との連携 ③観光・商工分野との連携
- 発電施設の積極的活用
 - ①リアルタイム環境モニタリング ②情報発信

検討メンバーからの主な意見

- 「観光・商工分野との連携」は重要な視点であり、最優先されるべき。
- 運用しやすく、使い勝手の良い基金になれば良い。
- 事業者が選定されたらすぐに取り組みに着手できるように、事業者選定の前に協調策・振興策の推進体制を形作っておくべき。
- 「漁業資源の活用」について、産卵後のサケの数は知れているため、それよりもアユの商業化手法への支援もしてもらえれば助かる。岐阜県や愛知県の取り組みが参考になる。
- 内水面漁協の施設は使う時期が限定されているため、使わない時期に有効に活用できるような施策も組み込むべき。
- アユ釣りの振興には、さらに大きく育てたアユの放流が有効だと思う。育てる場所は栽培漁業センターが候補になると思うが、栽培漁業センターを運営する水産水産振興協会は人員不足、資金不足で大変なようだ。水産振興協会等に、基金を使って何かしら後押しできないかと思っている。

議事② 酒田市沖における漁業協調策・振興策（内水面漁業）

有識者助言

【(国研)水産研究・教育機構 中村研究員】

■ 各取組みは結果を数値化するとよい。

数値化する項目：①金額（以前より収入がどれくらい増えたか）、
②人数（人数がどのくらい増えたか）、③満足度

【(同)YUI 中野代表社員】

■ 地域の人と共想した価値づくりをしていかないと、他の地域と差別化できない。地域の価値を伝える人材を作ることが大切。

■ 地域では風力発電をマイナスと言う人もいるが、マイナス面をどう価値づけしていくか、
どういうことを伝えるべきか、建設と同時に皆で物語を作っていくべき。

【北海道大学北極域研究センター 帰山北海道大学名誉教授】

■ 自然も含めた共生を考えていくべき。

■ 川づくりという視点が重要。アユの産卵所を作ることやサケが上りやすいように魚道を作ること、魚の再生産ができるような緩やかな川づくりをすることなど、全てを含めた増殖というものがあるべき姿。

■ サケを次世代に残していくためには、環境変化への適応度が高い野生魚を残すことが今後重要になってくる。再生産の場である川を豊かにするという視点が大切。